

「石材再生友の会」会報誌(ケイ・アンド・エス)
萌黄 (もえぎ)
通信

2006年 3月号 NO.30
<http://www.e-kands.jp>

みなさま、どうお過ごしですか?
 3月に入って少しずつ春めいた陽気に
 なってきましたね。そろそろ早咲きのは
 な桃が、開花する時期です。

*「萌黄通信」は写真入になりました。

メール配信ご希望の方は、kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

までお知らせ下さい

*社長ブログ「石材メンテナンスの旅」はじ
 めました。

ホームページ <http://www.e-kands.jp> からお入り下さ
 い

* また、施工現場で石のトラブルで**お困りの方**又は、**見積り依頼の方**は、下記までご連
 絡下さい

電話 03-3431-0387

担当 (有)ケイ・アンド・エス 堀内まで

萌黄通信

発行元 有限会社ケイ・アンド・エス

本社 電話 0556-22-3237 Fax 0556-22-3236

東京(営) 電話 03-3431-0387

メール kandsstg@jt4.so-net.ne.jp

「イタリア紀行」⑤

トスカーナを代表する赤ワインのふるさと「モンタルチーノ」

シエナの南30キロほどのところにモンタルチーノの町があ
 ります。町は小さいけど、ポポロ広場には、14世紀のままの姿
 で市庁舎や塔が残っています。



また、町のはずれには城塞があり、シ

エナの支配時代をうかがうことができます。



また、ここは、イタリア精選のワインのひとつブルネッロ・ディ
 モンタルチーノの産地で、城壁の一角に市直営の試飲できるエノ
 テカが常設されています。建物の中も14世紀のまま(レンガ)
 のつくりで、大変興味深いです。

マンション玄関床石の油のシミ抜き

最近多い石材トラブルの依頼です。

新しいマンションのほとんどで石材が使用されていて、

特に、玄関ロビーなどの共用部分は、高級イメージもあってか、このような石材で敷きつめられて
 います。しかし、石材は、吸収性がありますので、何かをこぼしたりすると、このようにシミを作り
 ます。



考えられることは、穴のあいたゴミ袋から垂れた油分がシミを作

っているのが、今まで一番多いです。

日数が経つと、なかなか深くに入り込んで厄介です。

通常この場合、湿布して、油分を分解していくのが一般的です。



湿布をした後は、丸い原形はなくなりました。今後再発を防ぐた

めに、フッ素配合のコート剤塗布をお勧めしたいところです。

浸透性のコート剤を塗布することを、製品塗布といいま
 す。通常の石貼りでは、石貼後、必ず、石の裏面から水分
 を吸い上げてしまいますので、このように、乾燥を良くさ
 せた状態で塗布すると、コート剤の浸透層が十分に深くまで
 出来、石に良く起こるトラブル(吸い上げによる濡れ色現
 象や、エフロの発生)を抑えることができます。まだ
 まだこれからの工法なのですが、大手の設計事務所とか、
 ゼネコンさんでは、採用されることが多くなってきていま
 す。写真の石材は、堆積岩のライムストーンでかなりの
 吸水性の高い石材ですから、製品塗布は必須条件となりま
 す。この現場は、石貼後も再塗布する高級(wコート)仕
 様です。



要するに、石が一番乾燥している状態で、

もあるので、すべての石を、乾燥させます。



それから、陸送中に、雨水等にあたること



石を以下のように並べます。

「よくある質問コーナー」
(Q) 製品塗布してどう施工ですか? (M工務店)
(A) 最近、多くの質問を受ける事項です。「製品塗
 布」は石材コートの中でも、一番コートの効果を発揮でき
 るコート剤の塗布方法です。まずは、梱包から石を一枚
 一枚出し、.....